



上は、前橋駅での出征兵士見送りの写真です。

昭和12年（1937）日中戦争が始まり、県内出身の兵士も、同20年（1945）に終戦を迎えるまで、中国や太平洋の島々へ出征しました。当時は、戦地へ赴く兵士を見送る光景は各地で見られました。

右は、大日本国防婦人会の白いたすきをかけた女性が、千人針を女性たちに縫ってもらっている写真です。千人針とは、一片の布に千人の女性が赤糸で一針ずつ縫って千個の結び玉を作り、武運長久と無事を願って出征兵士に贈ったものです。

〈参考資料〉『群馬県史』通史編7 721～727頁

